

証券コード：5358

 **イソライト工業株式会社**
ISOLITE INSULATING PRODUCTS CO.,LTD.



耐火断熱技術で未来をつくる

ISOLITE INSULATING PRODUCTS

第131期 年次報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで





飯田 栄司
代表取締役社長

平素は格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第131期
(2020年4月1日から2021年3月31日まで)の
事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当社グループは、高温産業の省エネルギーに貢献するために、耐火断熱れんがや高温断熱ウールに代表される高温用耐火断熱材を製造・販売しています。1,000℃を超える高温での高度な断熱の実現のためにセラミックウール技術と多孔質化技術を基盤に各種新製品を提供し、高温産業界の省エネルギーのみならず、防災や環境保全などの幅広い分野で社会に貢献しています。

第131期は2018年度～2020年度を対象期間とする中期経営計画の最終年度でありましたが、新型コロナウイルス感染症による世界的な経済減速の影響を受け最終年度目標は遺憾ながら未達となりました。今後は、2021年度～2023年度を対象期間とする新中期経営計画に掲げた「深化と探索による成長への助走」をテーマに諸改革を実行し、継続的な企業価値向上を目指すとともに、脱炭素社会に代表される中長期的な環境目標、持続可能な社会への貢献などの社会的要請に応えてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021～2023年度 中期経営計画

1. 中期経営計画のテーマ

深化と探索 による成長への助走

- 深化：コア事業である断熱材事業の深掘り、安定した収益基盤の確保
- 探索：新規事業分野、新製品市場の探索と育成

3. 最終年度目標

2. 重点推進事項

- 環境と持続可能性(Environment & Sustainability)
- 安全・衛生と法令遵守(Health, Safety & Compliance)
- 品質と顧客満足(Quality & Customer Focus)
- 技術革新と新商品開発(Innovation & Development)
- 人材育成と社会貢献
(Human Resource Development & Social Contribution)

売上高

185億円

経常利益

35億円

売上高経常利益率

18%以上

イソライトの製品開発力

最近のセラミックファイバー製品や高機能製品についてご紹介!!



特殊製法でショットフリー化を実現「ファイバーマックス-SF」

当社が独自に開発したゾルゲル法の技術を発展させ、特殊製法によりショット量を1%以下としたファイバーマックス 1600ブランケット-SFを開発しました。従来のセラミックファイバーを超える耐熱性を持ち、1600℃という高温下でも安定した性能を発揮します。

この製品は、特にショットが脱落するとダメージを与える製鉄所等の炉内断熱材や高級陶磁器の熱処理炉の断熱材として最適です。また、様々な分野でも応用可能です。



電気炉製作も当社にお任せ!

2020年から運用が開始されたパリ協定では「今世紀後半のカーボンニュートラルを実現」が目標となっています。我が国も2050年の温暖化ガス排出ゼロを目標に掲げました。

当社環境方針に基づき、お客さまのニーズに対して省エネルギーとなる高機能断熱材や耐火断熱レンガを中心に幅広く断熱材を供給し、これまで培った経験や技術を基に最適な断熱材選定や材料構成を検討し、より効果のある提案や断熱材設計を行ってまいりました。写真に示します電気炉の製作等も行っておりますので、断熱材に関することは引き続き当社にお申し付けください。

再生可能エネルギー活用の取り組み

SDGs

Isolite Insulating Firebrick社(マレーシア)において、工場建屋屋上(約5,000㎡)に出力872Kwp相当のソーラーパネルを敷き詰めるプロジェクトを、現地電力会社と進めています。マレーシアは、熱帯に属し、スクールがほぼ毎日降りますが、季節的な変化は少なく、ソーラーパネルを設置するには最適な環境です。マレーシア政府は、2025年までに総発電量に占める再生可能エネルギー比率を20%に引き上げる事を目標としており、太陽光発電事業の推進に力を入れています。今回の取り組みは、マレーシアの再生可能エネルギー促進政策に資するとともに、環境保全の一環と考えています。



■ 事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて厳しい状況で推移しました。感染拡大により2度にわたる緊急事態宣言が発出される中、企業収益は低迷し、個人消費や雇用・所得環境の悪化が長期化しており、先行きも依然として不透明な状況が続くと予想されます。

海外においては、政府による経済対策やワクチンの普及により米国と中国で経済の回復傾向が見られますが、両国間の摩擦の激化やウイルスの変異種拡大などの懸念があります。

鉱工業生産は、大幅な悪化から持ち直しの動きが見られ、先行き不透明な状況の中でも、先送りしていた設備投資を再開する動きも出てきております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、2020年10月1日付で完全子会社の株式会社ITMを吸収合併し、新生イソライト工業として、耐火断熱材をキーテクノロジーに持続可能な地球環境の構築に貢献することを使命とし、生産基盤の整備と売上・収益の確保、経営全般にわたる効率化に取り組んでまいりました。

しかしながら、断熱関連事業におきましては、中国国内での販売や半導体関連製品の販売は前期を上回りましたが、各種工業炉向け製品および自動車関連製品の販売が前期比では低調となり、当連結会計年度の売上高は136億93百万円（前期比15.1%減）となりました。

利益面におきましては、引き続き固定費の圧縮や運送費などの販売にかかる費用の削減に努めたものの、売上減少による影響が大きく、営業利益は21億51百万円（同24.2%減）、経常利益は23億52百万円（同18.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は15億99百万円（同15.5%減）となりました。なお、前期におきましては、関係会社株式売却に係る特別利益を計上したことなどの特殊要因が含まれております。

■ 今後の見通し

2021年3月期は2018年度～2020年度を対象期間とする中期経営計画の最終年度でありました。「市場ニーズ

セグメント別売上高構成比



断熱関連事業
92.1%

その他事業
7.9%

第131期売上高
13,693
百万円

に 대응する新商品の開発、拡販」 「アルミファイバーの増産体制確立と拡販」などを主要施策に掲げ一定の成果を見ることができましたが、数値目標である2020年度連結売上高180億円、経常利益31億円は、新型コロナウイルス感染症などの影響で世界経済が大幅に減速した結果、誠に遺憾ながら未達となりました。

今後は、2021年度～2023年度を対象期間とする新中期経営計画に掲げた「深化と探索による成長への助走」をテーマに諸改革を実行し、継続的な企業価値向上を目指すとともに、脱炭素社会に代表される中長期的な環境目標、持続可能な社会への貢献などの社会的要請に応えてまいります。

断熱関連事業におきましては「コア事業である断熱材事業の深掘り、安定した収益基盤の確保」を実現すべく、製造・販売・開発・エンジニアリングの連携をさらに深化し、四者一体となって顧客満足の実現と販売力の強化を図ります。また、繊維化技術や生産プロセスの革新により品質、生産性の向上とコスト削減を実現し、コア事業としての基盤をより一層強固にしております。

その他事業におきましては「新規事業分野、新製品市場の探索と育成」を目標に、かねてより手がけてきた機能性セラミックス製品などを中心に、電子部品や新エネルギー関連などの成長分野を育成し、収益基盤の拡大を図ります。

■ セグメント別の概況

断熱関連事業



セラミックファイバー
各種製品の製造・販売

耐火断熱れんがの
製造・販売

IT関連設備材料の
製造・販売

自動車排気ガス浄化
装置用材料の製造・販売

不定形耐火物および
関連製品の製造・販売

工業炉の設計・施工

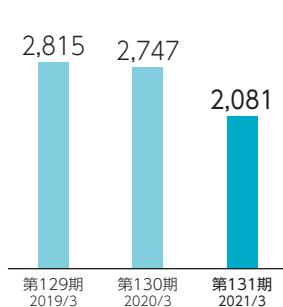
ファイヤー
プロテクション
材料の販売

断熱関連事業におきましては、各種工業炉向けを中心とした断熱関連製品および自動車関連のセラミックファイバー製品の売上減少により、当連結会計年度の売上高は126億7百万円（前期比14.1%減）となりました。

▶ 売上高 (単位：百万円)



▶ 営業利益 (単位：百万円)



その他事業



高温集塵用セラミック
フィルターの製造・販売

高機能セラミック
ファイバー質成形体の
製造・販売

セラミック多孔体の
製造・販売

集成材その他建材の
製造・販売

住宅用燃焼機器の販売

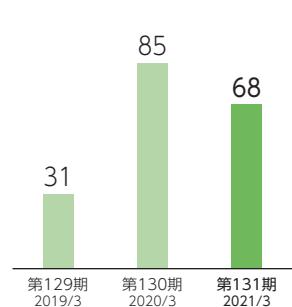
太陽光発電所における
発電、電気の供給

その他事業におきましては、建設関連資材の売上が増加しましたが、環境緑化製品および機能性セラミックス製品の売上減少により、当連結会計年度の売上高は10億85百万円（前期比25.2%減）となりました。

▶ 売上高 (単位：百万円)

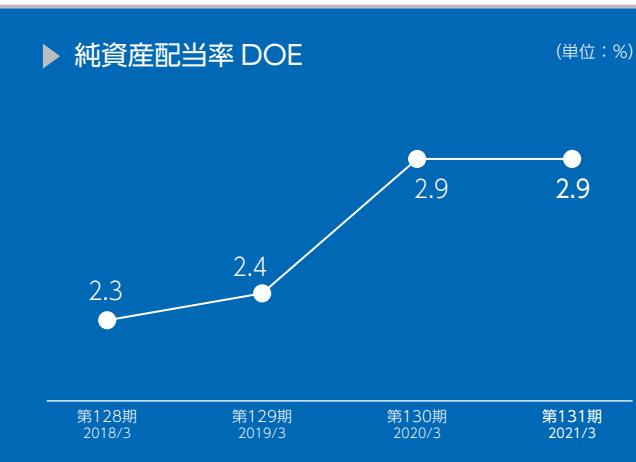
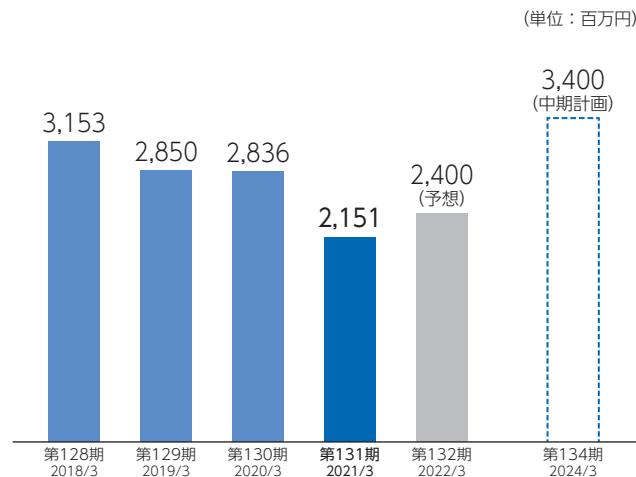
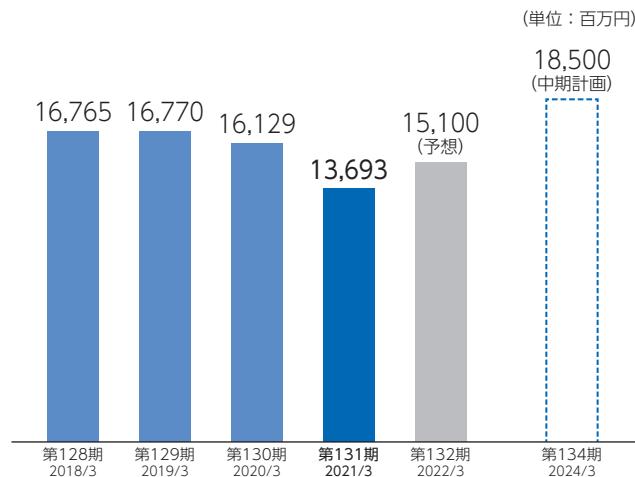


▶ 営業利益 (単位：百万円)



連結財務ハイライト

■ 第131期実績 / 第132期予想

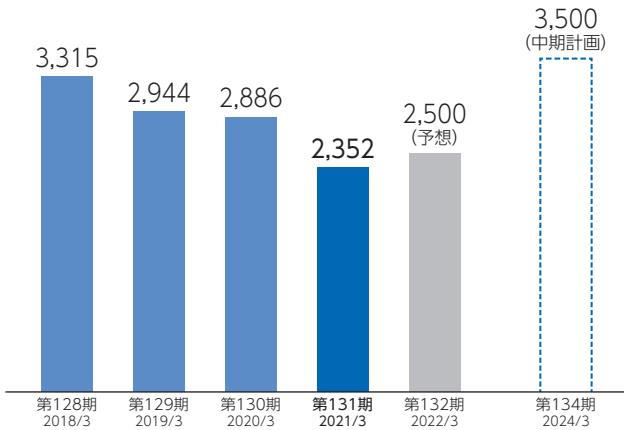


経常利益

第131期 **2,352**百万円 前期比 **18.5%** ▲

第132期 (予想) **2,500**百万円 前期比 **6.3%** ▲

(単位：百万円)

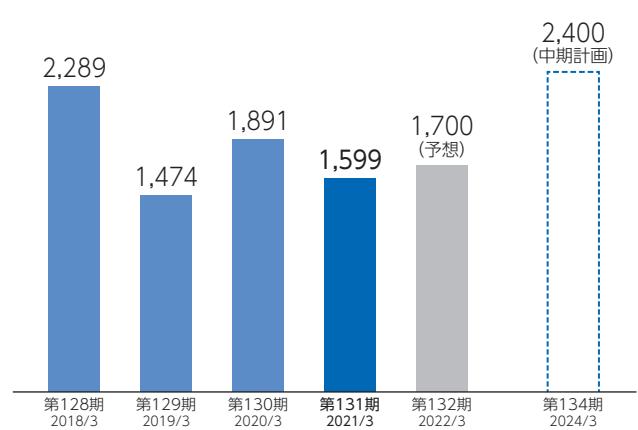


親会社株主に帰属する当期純利益

第131期 **1,599**百万円 前期比 **15.5%** ▲

第132期 (予想) **1,700**百万円 前期比 **6.3%** ▲

(単位：百万円)



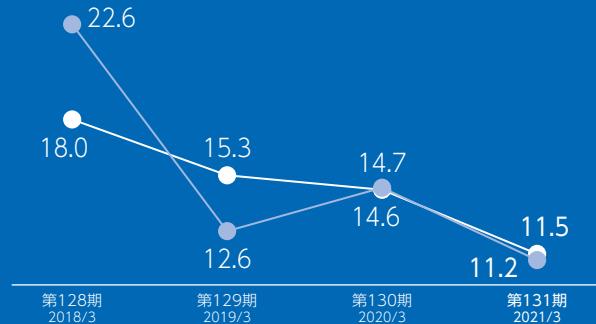
総資産 純資産

■ 総資産 (単位：百万円)
■ 純資産 (単位：百万円)



自己資本当期純利益率 ROE 総資産経常利益率 ROA

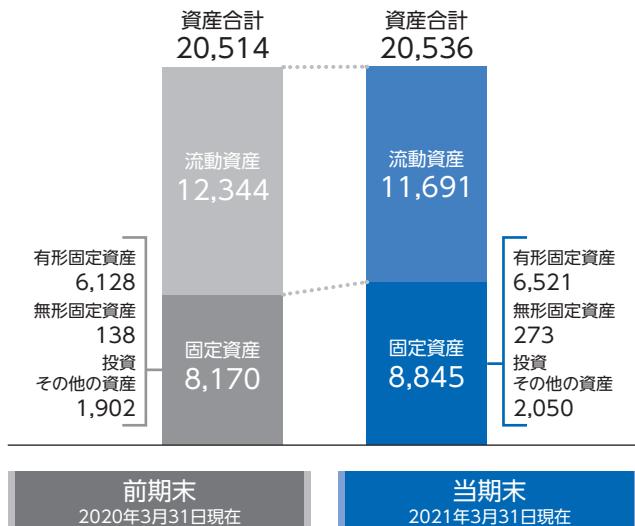
● ROE (単位：%)
● ROA (単位：%)



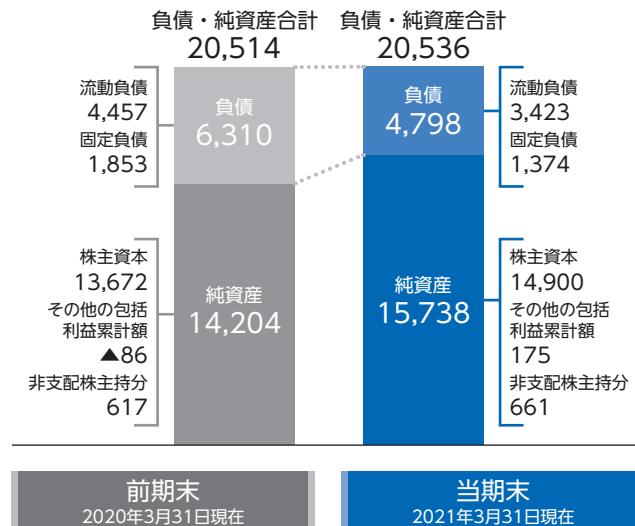
連結財務諸表（要旨）

■ 連結貸借対照表（単位：百万円）

▶ 資産の部



▶ 負債・純資産の部



総資産

前期末比 **22**百万円 

当連結会計年度末の総資産は、有形固定資産の増加等により前連結会計年度末に比べ22百万円増加し、205億36百万円となりました。

負債

前期末比 **1,512**百万円 

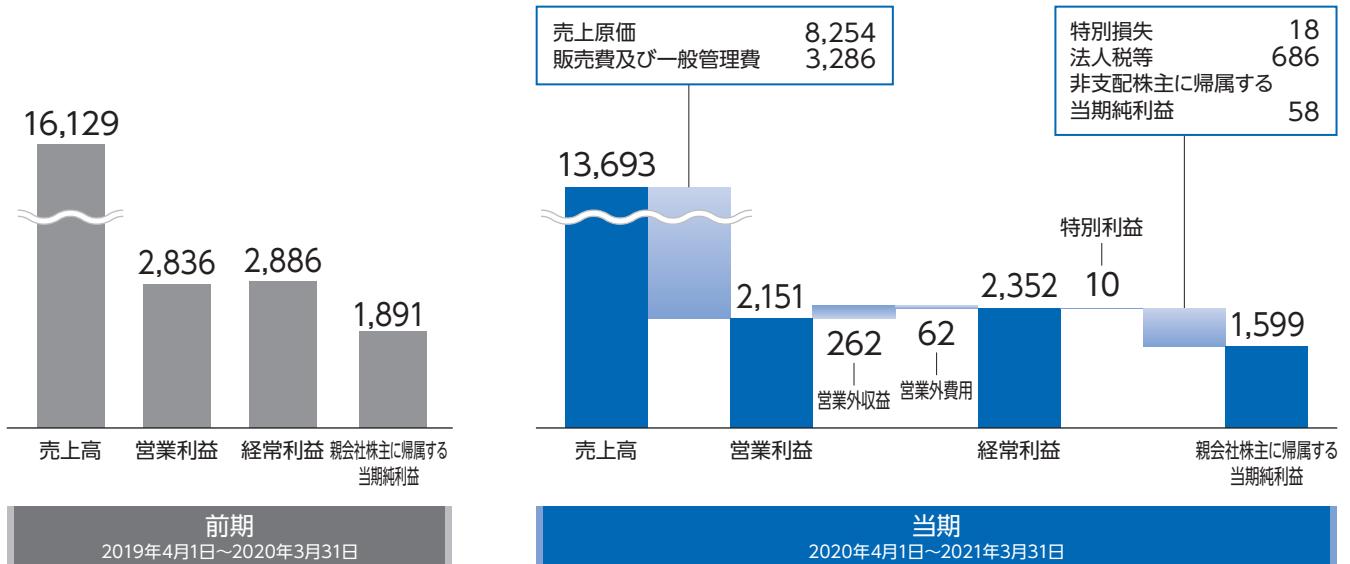
当連結会計年度末の負債は、借入金の減少等により前連結会計年度末に比べ15億12百万円減少し、47億98百万円となりました。

純資産

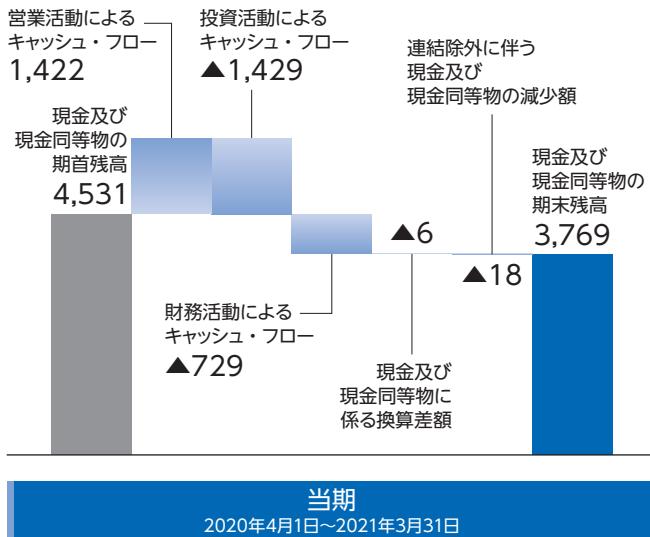
前期末比 **1,534**百万円 

当連結会計年度末の純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ15億34百万円増加し、157億38百万円となりました。

■ 連結損益計算書 (単位：百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)



営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は14億22百万円（前連結会計年度は35億71百万円の増加）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益の計上によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は14億29百万円（前連結会計年度は9億1百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は7億29百万円（前連結会計年度は12億86百万円の減少）となりました。これは主に、借入金の返済、配当金の支払によるものであります。

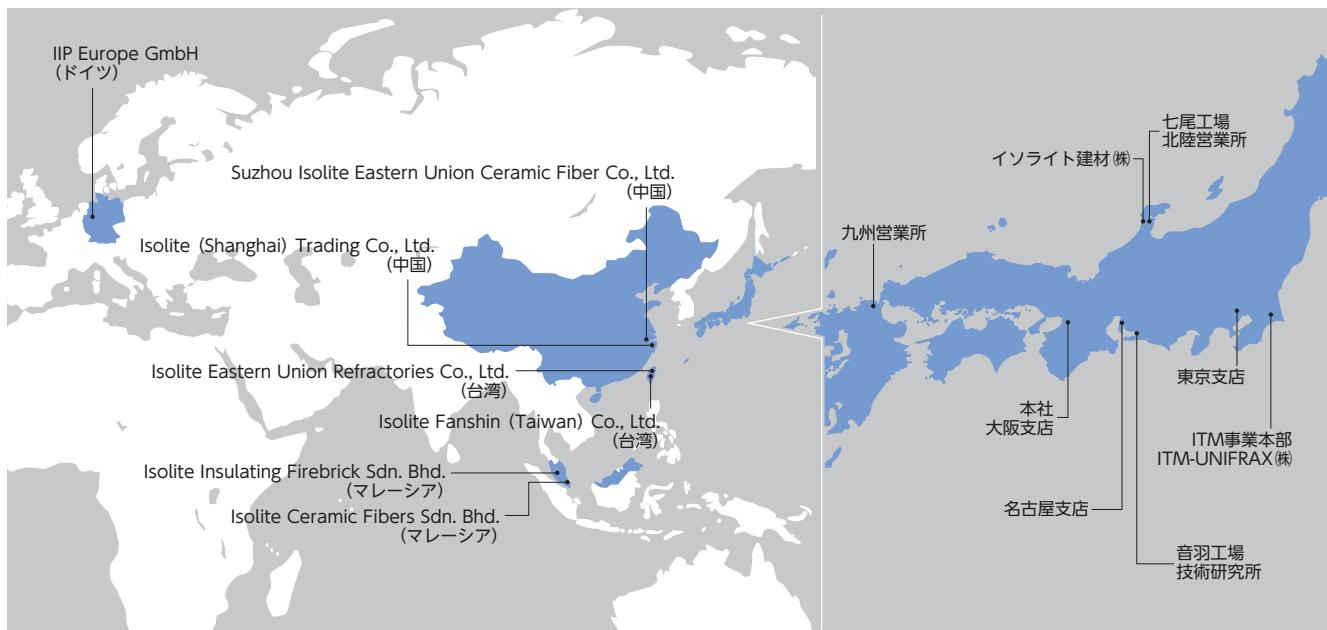
■ 会社概要 (2021年3月31日現在)

社名	イソライト工業株式会社
設立	1927年11月25日
資本金	31億9,650万円
本社	〒530-6108 大阪市北区中之島三丁目3番23号 中之島ダイビル8階
URL	http://www.isolite.co.jp/
従業員数	655名 (連結)
グループ会社	連結子会社 7社 持分法適用関連会社 2社

■ 役員 (2021年6月25日現在)

代表取締役社長	飯田 栄 司
取締役	佐野 達 郎
取締役	加藤 健
取締役 (常勤監査等委員)	佐藤 博 司
取締役 (監査等委員)	白江 伸 宏
取締役 (監査等委員)	石川 明 彦

■ グループ主要拠点 (2021年3月31日現在)



株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数	発行済株式総数	株主数
51,259,000株	23,606,573株	4,951名

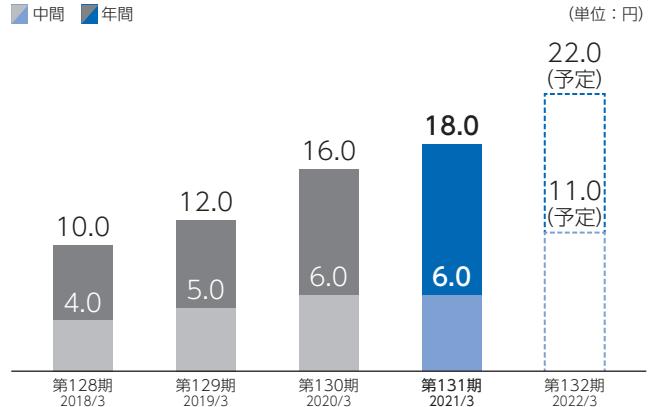
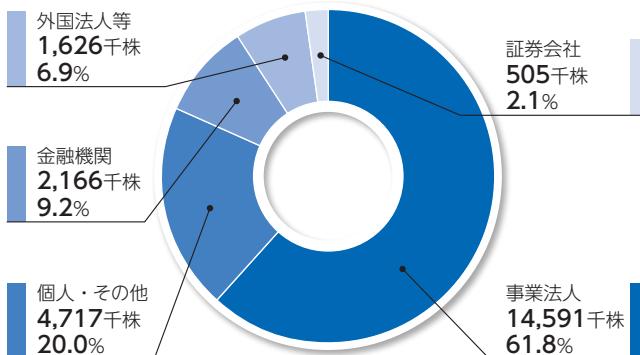
大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
品川リフラクトリーズ株式会社	12,919千株	55.28%
ニチアス株式会社	1,010千株	4.32%
GOLDMAN SACHS & CO.REG	600千株	2.57%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	590千株	2.53%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	327千株	1.40%
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	256千株	1.10%
三井住友信託銀行株式会社	215千株	0.92%
三井住友海上火災保険株式会社	191千株	0.82%
UBS AG LONDON A/CIPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	179千株	0.77%
久保田 浩	159千株	0.68%

※持株比率は、自己株式(236,903株)を控除して計算しております。

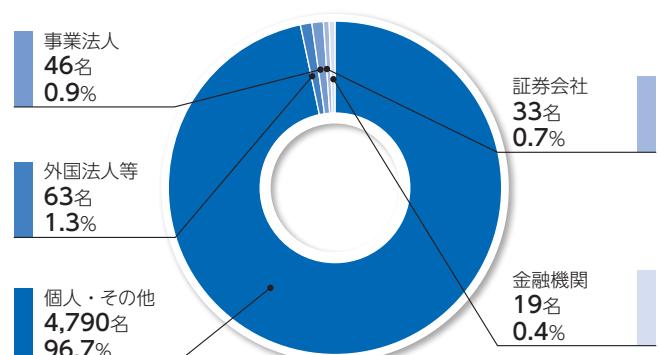
株式分布状況

所有者別株式数



当社は、持続的成長と中長期的な企業価値の向上を目指し、様々なリスクへの対応力を強化するため、強固な財務基盤を構築した上で株主の皆様へ業績に応じた適正な配当を実施することを基本方針としております。具体的には、当中期経営計画期間は、配当性向30%程度を目標として、利益還元を努めてまいります。第132期の期末配当金については、1株につき11円を予定しており、中間配当金1株につき11円と合わせた年間配当金は、22円となる予定であります。

所有者別株主数



株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要あるときはあらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031
インターネット ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について	証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。 証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。
特別口座について	株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。
公告の方法	当社のホームページに掲載します。 http://www.isolite.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場金融商品取引所	東京証券取引所

● 当社の単元未満株式を保有されている方へ ●

当社は、1単元(100株)に満たない株式をご所有の株主様に対しまして、不足分を買増して単元株式にまとめていただけるよう、そのご請求に応じて単元未満株式を売渡しいたしております。

また、逆に、ご所有の単元未満株式をご処分されたい場合は、従来どおり当社にて買取りいたしております。

お手続きにつきましては、証券会社に口座を開設されている株主様は、口座のある証券会社宛をお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の三井住友信託銀行株式会社の電話照会先にご連絡ください。

株式に関する 「マイナンバー制度」 について

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。
このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

マイナンバーの お届出に関する お問い合わせ先

- 証券会社でお取引をされている株主様
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 特別口座に登録されている株主様
上記特別口座の管理機関までお問い合わせください。

イソライト工業株式会社

〒530-6108 大阪市北区中之島三丁目3番23号 中之島ダイビル8階



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。